令和2年度の学校経営

男鹿市立船越小学校

1 学校経営の概要について

(1) 学校教育目標 「かがやく瞳 伸びゆく子」

「かがやく瞳」…自分自身が夢を見つけて、その実現に向けて努力する
学習や学校での活動に生き生きと前向きに取り組む

「伸びゆく子」…自分を取り巻く人々やもの、自然と関わって自分の生き方について
考えを広め、深める子ども
常に今日の自分より一歩高まった自分をめざし、伸びゆく姿を実感
できる子ども

(2) 学校教育目標の具現化のために

〈めざす学校の姿〉

- ・確かな学力を育むために、分かる授業を実践する学校
- ・子どもや保護者、地域の人々に信頼される学校
- ・地域や学校の特色を生かし、創意ある教育課程の編成と展開に努める学校

〈めざす子どもの姿〉

- ・進んで学び、よく考える子ども (かしこく)
- ・明るく、思いやりのある子ども (やさしく)
- ・健康で、たくましい子ども (たくましく)

〈めざす教師の姿〉

- ・子どもに共感することができる教師
- ・子どもに自己存在感をもたせる教師
- ・子どもに自己決定の場をつくる教師

(3) 基本方針…【ふるさと教育・キャリア教育を基盤とした学力向上】

- ・ふるさと教育・キャリア教育を重視した教育課程の編成
- ・自ら学び続ける意欲と態度の基礎を育むための授業改善
- ・コミュニティ・スクールを基盤とした社会に開かれた学校づくり

(4) 経営の重点

① 互いに認め合い心通う学級づくり

- ・基本的な生活習慣の定着 ・学級指導の充実
- ・道徳教育の充実 ・T T、専科、学年部での複眼的・多面的な児童理解と学習指導の充実

② 一人一人の子どもを伸ばす学習指導

- ・問題解決型学習、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業づくり
- ・自分の学びを振り返り、次の学びに生かす力を育む指導
- ・学校での学習とリンクした家庭学習の工夫

③ ふるさと教育・キャリア教育の充実

- ・ふるさと教育を踏まえた地域の一員としての意識の向上
- ・将来への夢や目標を意識化 ・学校外の人のお話を聞く機会の設定